



センター前児童公園集いの場



山口家集いの場



いきいき長寿の会

集いの場

参加者の声

山口家集いの場（沼島）

- ・集いの場を始めたきっかけは？
山口家の家主が独居になった時、近くにいる娘さんが「一緒にお茶をしよう」と、山口家に近隣住民や友人を招きました。
- ・運営をしていて困ったことは？
特にありません。家主の娘さんが焼いてくれたパンを皆で食べたり、お土産や飲み物を皆で持ち寄ったりしています。
- ・集いの場をやってみての感想は？
気を許せる仲間と心配事の相談をしたり、昔話ができ楽しいです。家主の生活を見て、こういう風に老いたいというモデルを感じることができました。来ていない人がいたら電話で安否確認をしています。

センター前児童公園集いの場（沼島）

- ・集いの場を始めたきっかけは？
集まる場所が欲しいと思っていた時、大工さんが好意で机や椅子を作ってくれました。雨の日以外は毎日、同年代の男性らが集まります。
- ・運営をしていて困ったことは？
椅子や机が壊れかけた時、修理のお金をどう工面するか困りました。参加者でお金を出し合い、左官や大工の参加者が修理しました。
- ・集いの場をやってみての感想は？
世間話や漁の話ができる情報交換の場になっています。観光客の道案内もしており、地元自慢ができます。観光客も「元気が貰えた」と言ってくれます。皆で掃除をしたり、花見会をすることもあります。

いきいき長寿の会（阿那賀）

- ・集いの場を始めたきっかけは？
魚屋をしていた店舗の場所が空いたので、玉ねぎを剥く仕事をしていました。そこに仕事をしない人もだんだんと集まるようになりました。ほとんどが昔からの顔見知りです。
- ・運営をしていて困ったことは？
特にありません。毎日開いていて、ずっといる人もいれば途中で帰ってまた来る人もいます。それぞれ飲み物やお菓子を持ってきます。
- ・集いの場をやってみての感想は？
地区の情報交換ができます。いつも誰かがいて、話ができ楽しいです。介護認定を受けている人はいますが、デイサービスに行っている人はいません。

南あわじ市では、地域包括ケアシステムの構築に向けて、身近な地区での集いの場づくりを推進しています。

集いの場って何？

地域住民が主体となって、高齢の人が日常生活の中で気軽に参加していただける活動の場です。

集いの場が目指すもの

地域には、高齢化が進んでいる、地域のつながりが薄い、独居世帯の増加などの問題があります。それぞれの地域に集いの場があれば、身近な地域交流のきっかけが生まれまます。集いの場をお手伝いしていただくといった活動が生きがいになったり、外出する機会が増えたりすることで、介護予防に繋がります。

集いの場の開設に向けて

- ①相談しよう
市役所や社会福祉協議会が活動を支援します。
- ②仲間を見つけよう
「中心となって活動する人」、「ボランティアとしてお手伝いしてくれる人」はいませんか？地区の人に声を掛け

てみましょう。

③やり方を決めよう

- ・集いの場の名前を決める
- ・場所を決める
- ・時間を決める
- ・活動内容を決める

④準備しよう

- ・協力者はいる？
- ・一人に責任が掛からない？
- ・誰が何をする？

物

集いの場を開くのに必要な物は？

お金

- ・参加費を集める？
- ・行政の支援はある？
- ・地域団体の支援はある？

集いの場の開催、運営について、気軽に相談ください。

● 地域包括支援センター
☎ 43・5237

● 町社会福祉協議会生活支援コーデイネーター
☎ 44・3007